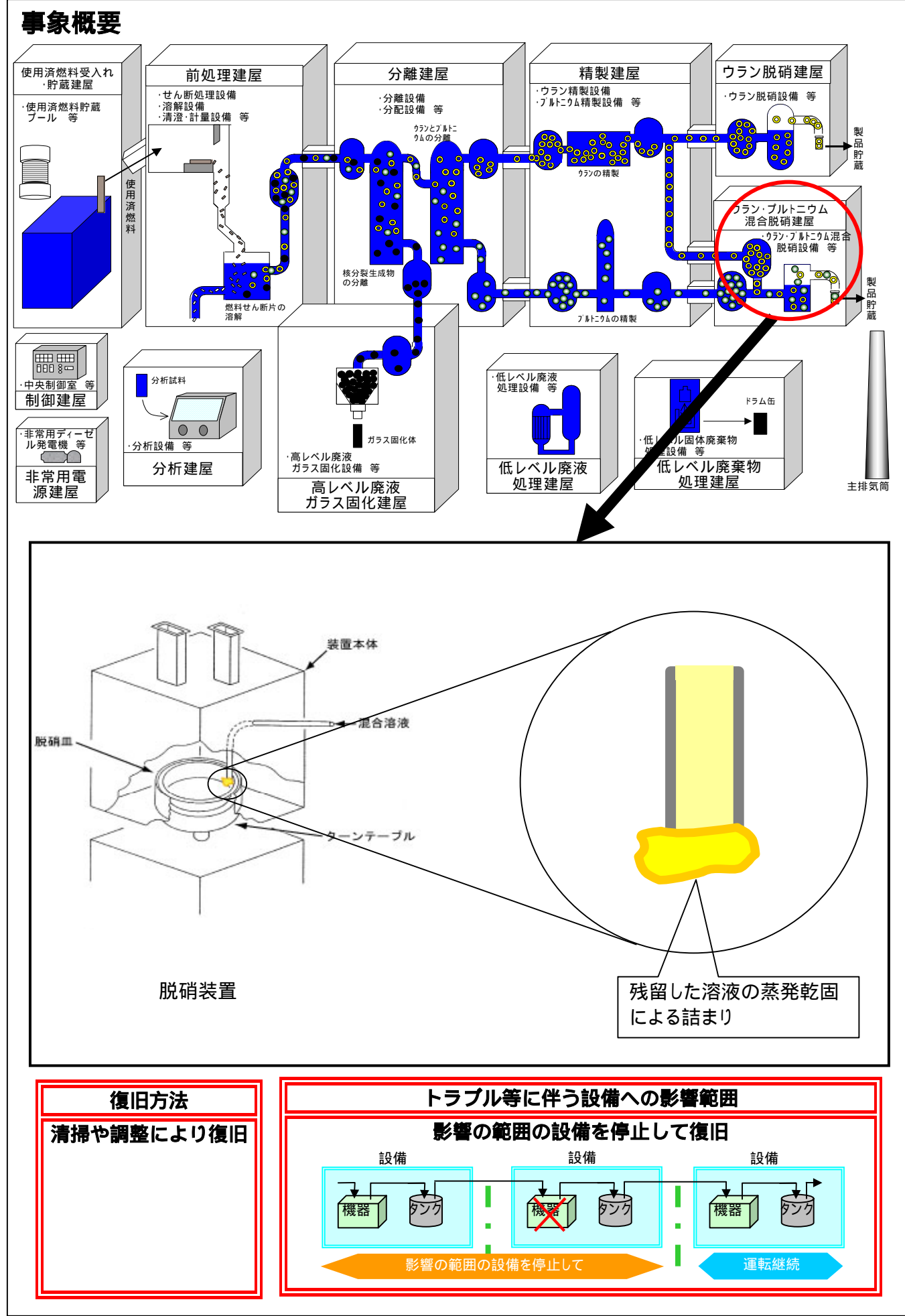


再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応

(No.1-30)

| <p>件名</p> | <p>脱硝装置の給液ノズル先端部における詰まり</p> | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------|-----------|-------------------|------|--|--|-----|-----|-----|-----------|-------------------|------|
| <p>事象の概要</p> <p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 設備の概要</p> <p>(3) 発生の状況</p> <p>(4) 概要</p> <p>(5) 原因</p> | <p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋・脱硝装置</p> <p>ウラン・プルトニウム混合溶液をマイクロ波による加熱により熱分解し、ウラン・プルトニウム混合粉末にする装置。なお、脱硝装置は2系統(並列運転)あり、片方の系統が停止しても、もう片方の系統は運転を継続できる。</p> <p>脱硝装置の運転中</p> <p>脱硝装置のウラン・プルトニウム混合溶液給液ノズル先端に残留した溶液の蒸発乾固によるノズルの詰まり。</p> <p>運転を継続することで発生する詰まり(予め対応手順を定めている)</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>事象による影響</p> <p>(1) 工場外への影響</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p>(4) 他工程への影響</p> | <p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有するウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備のグローボックス換気系が稼働しているグローボックス内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 給液ノズルの詰まりは、給液時間が長くなることからタイマーで検知され、脱硝装置の運転が自動停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 給液ノズルの詰まり除去作業に当たっては、定められた放射線管理計画書に従って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>上流の工程の運転に影響が生じる。 給液ノズルの詰まりに伴い、ウラン・プルトニウム混合脱硝工程の運転に影響が生じる。さらに上流の精製建屋以前の工程は、一時的な貯留槽(ウラン濃縮液第2受槽、プルトニウム濃縮液一時貯槽等)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>対応の概要</p> | <p>(1) 給液ノズルの詰まりはノズル先端に残留した溶液の蒸発乾固によるものであることを確認する。</p> <p>(2) 給液ノズルの詰まりを除去し、定められた操作手順に従って運転を再開する。</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>公表区分*1</p> | <p>毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>情報区分*1</p> | <table border="1"> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> <tr> <td>A情報</td> <td>B情報</td> <td>C情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td>不適合等</td> </tr> </table> | トラブル情報 | | | 運転情報 | | | A情報 | B情報 | C情報 | ごく軽度な機器故障 | 清掃・調整等で復旧可能な機器停止等 | 不適合等 |
| トラブル情報 | | | 運転情報 | | | | | | | | | | |
| A情報 | B情報 | C情報 | ごく軽度な機器故障 | 清掃・調整等で復旧可能な機器停止等 | 不適合等 | | | | | | | | |



*1 「A情報」:安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、「B情報」:事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、「C情報」:A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象